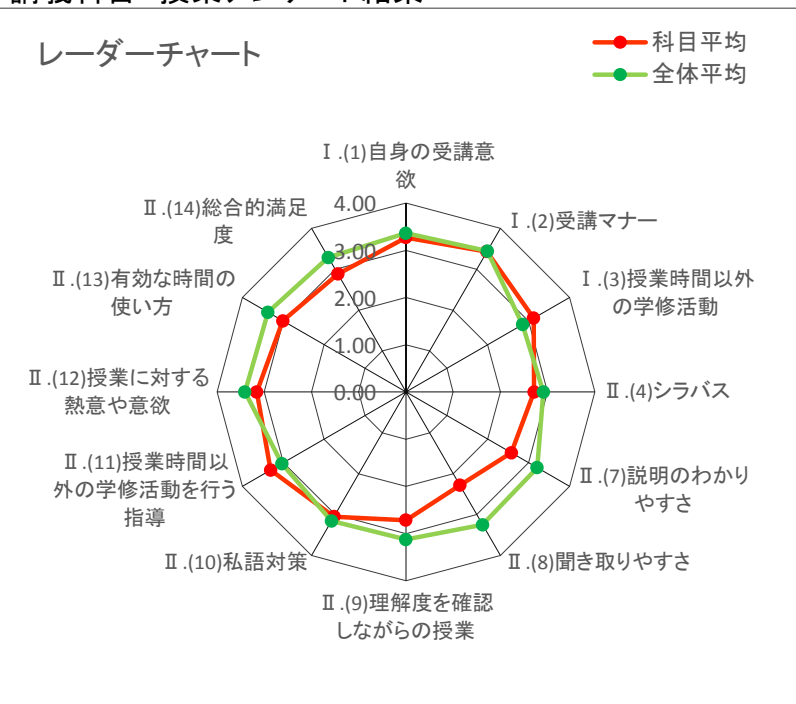
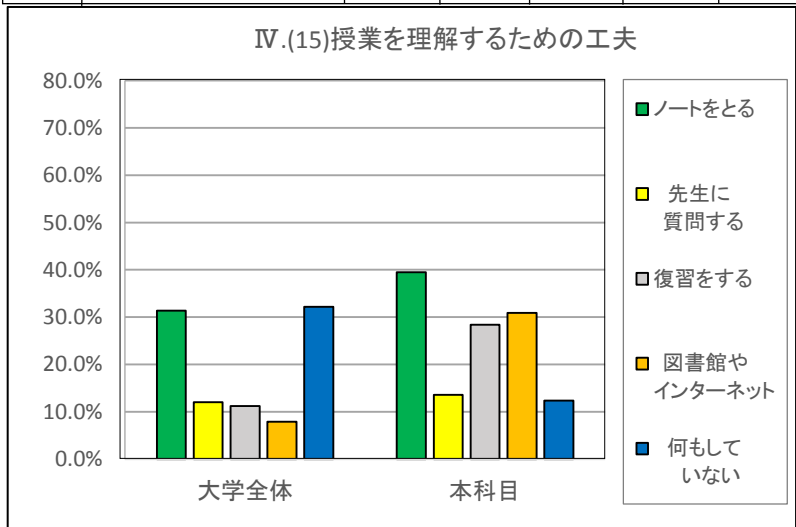


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	39.5%	13.6%	28.4%	30.9%	12.3%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	31201
科目名	看護過程演習
教員名	

①授業計画の達成度について

看護過程という思考過程の学習は、初学者には高度な学習である。看護の科目が終了していない中で、看護を適切に提供するための思考過程を学ぶのは、看護の定義、患者のイメージ、疾患の理解などの理解が必要であるが、その点に関して理解の確認が十分できていなかったと考えられる。しかし、中には個人課題を提示すると、真摯に取り組み、ほぼ課題を理解している学生も複数名いた。

②授業の進め方について

課題には、すべて模範解答を示した。授業終了時にわからないことを聞き、次回の講義で回答するというのを数回行った。事例展開についての模範解答例もしめし、解説も行ったが、前述したとおり、学生の理解の評価が十分でなかったことから、課題の理解が十分できない学生もいたと考えられる。グループワークでは他人に依存する学生も出てくることが考えられるため、個人課題を多くした。個人課題には模範解答を示し説明を行ったことで理解が進んだと思われたが、学生にとっては事例を理解するのが困難であることが伺えた。全体に対しては、疑問点への回答、模範解答の配布を行ったため、理解されたと予測したが、学生の要望にもあるように個人課題の習熟度により個人指導を行う必要があったと考えられる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

全体に対する理解を高めることに加え、個人の提出された課題の評価を行い、個人指導が必要であるとする。個人指導には時間を要することから、協力してもらう教員を増やすか、複数回にわたり個人指導する時間を授業中もしくは授業時間以外でも確保する必要がある。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.27	3.36
	I.(2)	3.43	3.45
	I.(3)	3.12	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.72	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.58	3.21
	II.(8)	2.28	3.25
	II.(9)	2.72	3.13
	II.(10)	3.05	3.16
	II.(11)	3.31	3.04
	II.(12)	3.16	3.41
	II.(13)	3.01	3.37
	満足度	II.(14)	2.88

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢		
I.(1)~(3)	3.28	3.22
講義内容・方法		
II.(4)~(13)	2.85	3.18
総合的満足度		
III.(14)	2.88	3.29